



<例会・理事会>

10月例会 (143回 14名出席)

移動例会

143回例会はミステリー移動例会として開催。平成25年10月11日(金)午前8時30分に横浜駅西口天理ビル前を出発した。車内で例会が開催され、誕生祝品贈呈、各委員会報告、理事会決定事項として三游会の名称を参游会と変更すること、パソコン同好会の発足等が報告された。移動例会は最初に南足柄のアサヒビール神奈川工場を見学、工場内のレストランで昼食後、厚木市下荻野の社会福祉法人敬和会ケアハウス「えがりて」を将来の参考に見学をした。続いて小磯会員の解説を聞きながら車中から宮ヶ瀬ダムを見学をして、最後にアンパンで有名な丹沢パンの「オギノパン」でお土産を買って帰路につき横浜に午後5時30分に到着し移動例会を終了した。



11月例会 (144回 26名出席)

平成25年11月8日(金)12時から横濱相生会館本館2階にて開催。会長の復帰報告が行われ、加藤武常任理事の訃報が報告され黙祷、河崎会員の挨拶のあと、移動例会のビデオを見ながら会食となった。例会は、会長あいさつに続き、ゲストの山手ロータリークラブ社会奉仕委員長佐藤 恵氏紹介された。誕生月会員の森山功、加藤道子、富永和男各氏に祝品贈呈された。各委員会の報告に続き、理事会報告として、横濱プロバスクラブの歌及び歌詞を募集中で締め切りを12月末とすること、関東ブロック交流会が2月3日に開催されることが報告され参加者募った。同好会報告では、旅行会から上海旅行の報告、ゴルフ同好会からは、第6回ゴルフコンペ、神奈川県プロバス交流ゴルフコンペを11名の参加者開催されたことが報告された。

12月例会 (145回 27名出席)

平成25年12月13日(金)12時から「味の関所弁慶」にて145回例会と「故加藤武会長の偲ぶ会」が開催された。例会は、会長挨拶ではじまり、誕生月会員の荻原信吾、加藤豊、岡部正久、原田正成各氏に祝品が贈呈された。各委員会の報告に続き、理事会報告として、多摩プロバスクラブの忘年会、山手ロータリークラブのクリスマス会の参加報告があった。例会最後に青木会長より「弁慶閉店」の挨拶があった例会終了後、午後1時より加藤武氏の偲ぶ会が開催された。

1月例会 (146回 22名出席)

平成26年1月10日(金)12時から進交会館6階みなと倶楽部にて開催された。会長の挨拶で開会、松田会員の新春の謡曲「松亀」の後、加藤道子会員の音頭で乾杯開宴。会食中に新春恒例の2分間スピーチを各会員が行った。誕生月お祝いもスピーチの間に行われ和田和、岡賢治、青木伊平、小磯智功、松下尚雄各氏に祝品贈呈された。委員会の報告に続き、理事会報告、同好会活動報告が行われた。午後2時40分に閉会した。

理事会開催(会場：進交会館)

10月理事会(10名出席)平成25年10月18日(金)
：多摩PC交流会、関東ブロック交流会について協議

11月理事会(10名出席)平成25年11月15日(金)
：「加藤氏偲ぶ会」の内容を検討

12月理事会(10名出席)平成25年12月20日(金)
146回例会の内容を例年の内容を検討

1月理事会(12名出席)平成26年1月17日(金)
：次期役員を検討

：「釣り同好会(世話人：松下尚雄)発足を承認



<トピックス>

加藤武常任理事 逝去「偲ぶ会」

全日本プロバス協議会会長（横濱プロバス倶楽部常任理事）の加藤武が平成25年11月6日に膵臓がんのため逝去しました。通夜と葬儀は11月10日・11日にカルチャーBONDS藤沢でとりおこなわれ、プロバスクラブ、白門会、ボーイスカウト、役所関係など多くの人が訪れ別れを惜しんだ。平成25年12月13日(金)例会後、午後1時より偲ぶ会を加藤ひとみ（娘）様をお招きして開催された。加藤氏の冥福を祈り黙禱で始まり、会長の挨拶に続き、献杯を行い会食が始まった。会食中加藤さんとの思い出話が有志会員から披露された。最後に加藤ひとみ様よりご遺族の挨拶があり閉会をした。ご冥福をお祈りいたします。



「味の関所 弁慶」閉店

横濱プロバス倶楽部のたまり場であった12月30日37年の歴史に幕をおろし閉店した。にこにこサロン、打合せ、待合せ、そして「偲ぶ会」と横濱プロバス倶楽部が何かにつけお世話になったお店でした。最終日の12月30日には2,500円で時間無制限、食べ放題、飲み放題と大盤振る舞いをしていただき、会員も思い思いの時間に訪れ名残を惜しんだ。今後は青木会長の娘さんが代替わりをして、リニューアル後釜飯、焼き鳥の店「とりろう」として2月22日にオープンする。

小磯会員の記事が読売新聞元旦号に掲載

読売新聞元旦号「大河かながわ」

10年前 みなとみらい線開業

2002 サッカー日韓W杯、横浜で決勝戦

20年前 1994 湘南国際村オープン

30年前 1984 横浜こども科学館オープン

1978 横浜スタジアム完成

40年前 1974 横浜・大黒大橋が完成

1969 東名高速度道路全通

50年前 東海道新幹線開業、東京五輪

60年前 崎陽軒シュウマイ弁当発売

県立音楽堂オープン

1947 相模ダム完成、相模湖誕生

県立音楽堂を活動委拠点にしている横濱交響楽団理事長の小磯功さん(77)「当楽団は落成当初から音楽堂を活動拠点としてきました。開催した演奏会は520回にのぼり、音楽堂を最も使ってきた団体だと思います。ホールはどの座席からでも音が均等に味わえ、世界に誇れる音響の良さがあります。今後もここを拠点に多くの人に演奏を届けていきます」

実行委員長に青木会長が就任

12月25日に神奈川県民サポートセンターで開催された全日本プロバス協議会理事会で、今年の11月23日に横浜で開催される全日本プロバス協議会第6回総会の実行委員長に横濱プロバス倶楽部の青木会長が任命された。総会へ向けての抱負と、準備状況としてすでに総会会場として神奈川県民ホールと懇親会々場として萬珍楼を予約したことを報告し、最高のおもてなしをすることを約束した。



<連載> 私の横濱物語③鉄道発祥の地

横浜 中村 實(副会長)

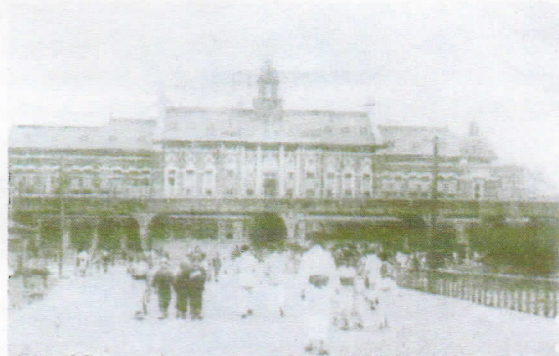
本邦初の鉄道が開業したのは明治5年(1872)10月14日(新暦)で、横浜駅と新橋駅との間29kmを結んだ。当時の横浜駅は現在のJR桜木町駅の位置である。その後鉄道建設は日ごと、年ごとに進展し、大正3(1914)年12月20日に現東京駅が開業した。横浜駅は鉄道の西進につれ、東京方面から来る列車は蒸気機関車の方向転換が必要で、手間と時間がかかるもので、これを省く方法が検討された。その結果、高島町近辺に新駅を建設移転することになった。そして大正4(1915)年8月15日に第2代目横浜駅として開業した(写真1)。

新駅はレンガ造りでルネッサンス式の風格のある駅舎であった。その上出札口と改札口が2階に設けられ、当時としては極めて珍しいいわゆる橋上駅舎の先駆けとされている。しかし同駅は大正12(1923)年9月1日正午頃に発生した関東大震災(震源葉山沖)により倒壊、焼失し僅か8年間の短命に終わっている。

その後長い間、駅舎被災前の構造物がどこに埋もれたか、不詳だったが平成に入ってここにマンション建築が始まり、地盤強化の工事中にその一部が発見された。建築物所有者の行為でこれが公開展示されてるに至った。(写真2)

ところで明治39(1904)年7月15日、民間企業の横浜電気鉄道(株)が神奈川大江橋の間に路面電車を走らせた。その後市内に多くの路線を拡張し市民の足として役立っていたが、大正10(1921)年に運賃の値上げ問題が起こり、解決がこじれたため横浜市電気局が誕生し、その年「市電」となった。その後も大活躍を続けてきた市電も自動車の普及躍進によって道路混雑に拍車をかけることになり、昭和47(1972)年3月31日限りでついに前線が廃止された。現在市電の姿を思い浮かべられる市民は僅かだろう。多くの市電ファンの声を汲み上げ、市交通局は7輛の電車の他、多くの部品や資料を展示する「市電保存館」を昭和48(1973)年8月25日旧滝頭車庫の一部に設立した(写真3)。

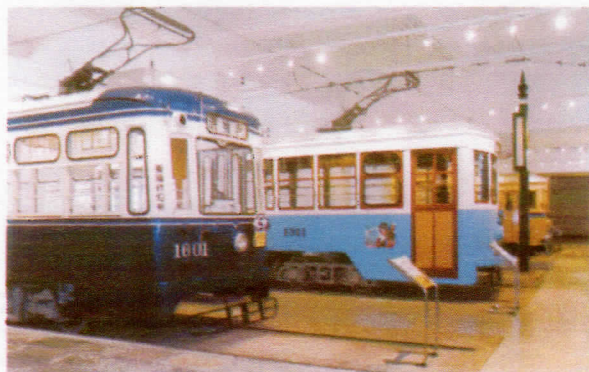
横浜の鉄道物語を3回に分けて紹介でした。ご愛読を感謝します。



(写真1:第2代目横浜駅)



(写真2:第2代目横浜駅跡)



(写真3:市電保存館)



<交流>

多摩プロバスクラブ忘年会

多摩プロバスクラブ忘年会が、12月4日(水午後5時より聖跡桜ヶ丘の京王クラブで開催された。横浜プロバスクラブからは、森山、小磯、松下、富永、須藤の各氏が参加した。他に、近隣の八王子プロバスクラブ、日野プロバスクラブからの参加もあり総勢50名の忘年会でした。開会にあたり、多摩プロバスクラブ役員の見舞いに続き、全日本プロバス協議会から立川会長代行と森山幹事長が平成26年11月に横浜で開催される全日本の総会への協力を要請する挨拶があった。忘年会では立食で自由に行き来し挨拶を交わし和やかな雰囲気のなかで交流を深めました。

横浜山手ロータリークラブのクリスマスパーティー

横浜山手ロータリークラブのクリスマスパーティーが12月11日(水)午後7時より大栈橋の一角にあるSubzero(サブゼロ)で開催され、横浜プロバスクラブからは青木会長・中村副会長をはじめ、森山、小磯、富永、東野、須藤の各氏7名が参加しました。会場は大栈橋の2階の先端にあり、みなとみらい21地区やランドマークが望める夜景がきれいなガラス張りのレストランでした。参加者は山手ロータリークラブの友好クラブが、千葉県から大型バスで参加しており総勢100名程で、料理はイタリア料理をベースとして7品のコース料理でワインとともに振る舞われました。美しい景色とともに料理を堪能し、親交を深めることができました。



関東ブロック交流会

全日本プロバス協議会関東ブロックの交流会が2月3日(月)午前11時より、八王子エルシーで東京八王子がホストクラブとなり開催された。参加者は前日開かれた理事会から引き続き参加の北九州の古賀副会長、鹿児島南の迫田理事をはじめ新潟プロバスクラブからの参加もあり総勢130名参加者だった。横浜プロバスクラブからは青木会長をはじめ13名が参加した。交流会は、八王子プロバスクラブのコーラスグループ「シニア・ダンディーズ」のコーラスで始まった。故加藤武会長への黙祷のあと、ホストクラブの荒会長挨拶、来賓挨拶と続き、参加12クラブのクラブ紹介があり森山全日本プロバス協議会幹事長の発声で乾杯の後会食が始まった。会食中は各クラブ積極的に名刺交換をしていた。アトラクションは八王子の会員による「バナナのたたき売り」があり、横浜のメンバーは5人が購入していたが、帰りには同じテーブルの人に配りほとんど持っていなかった。最後は、「シニア・ダンディーズ」のコーラスとお礼の言葉で閉会となった。

<同好会活動>

カラオケ同好会

12月13日(金)参加者13名、加藤武会員を偲ぶ会の終了後に加藤ひとみ(娘)さんも参加され大いに歌って盛り上がりました。1月10日(金)参加者7名通常より少なかったのですがその分歌えて喜んでおりました。世話人 富永和男

ゴルフ同好会

10月30日第6回ゴルフコンペを大秦野CCで会員6名、ゲスト4名計10名で行った。

11月6日神奈川県プロバス交流ゴルフコンペを千葉県のB&Wで横濱3+1、横須賀5人、鎌倉2人計11人で行った。